

# 平成24年度 Q I の設定と改善のための活動報告

⑧

部署名	摂食嚥下対策チーム (リハビリテーション部)	代表者	金田 浩治
-----	---------------------------	-----	-------

## 1. 設定した指標

- ①摂食・嚥下リハビリテーション施行者数
- ②嚥下機能検査 (VE・VF) 実施数

## 2. 指標の説明

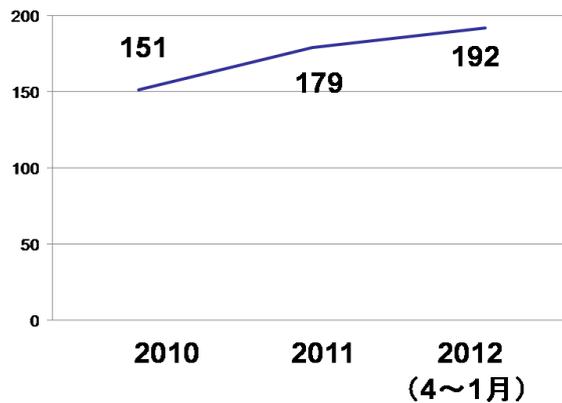
①摂食・嚥下リハビリテーション施行者数について  
院内の嚥下訓練対象患者が適切に抽出され、訓練依頼に繋がっているかを確認する指標

②嚥下機能検査 (VE・VF) 実施数について  
対象の嚥下障害患者に客観的な嚥下機能評価がどの程度実施されているかを確認する指標

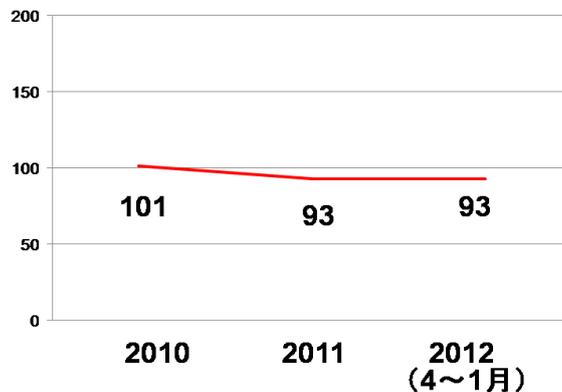
- ・VE (VideoEndoscopic examination of swallowing) 嚥下内視鏡検査
- ・VF (VideoFluoroscopic examination of swallowing) 嚥下造影検査 (バリウムを混ぜた食事で透視をする)

## 3. これまでの指標データ

摂食・嚥下リハビリテーション施行者数



嚥下機能検査 (VE・VF) 実施数



○ 分母・分子、除外データ、データ抽出元など

摂食嚥下リハビリテーション施行者数については、言語療法実施患者一覧 (リハビリテーション科言語療法部門保有) より、嚥下機能検査実施数については、リハビリテーション科日報より抽出

#### 4. 評価及び指標改善に向けて行った活動など

##### ・これまで計測してきた指標の数値についての評価

①については、年々患者数の伸び数が増加しており、嚥下障害患者の適切な抽出が図れていることを示していると思われる。しかし、患者数の伸びに対して、実際に訓練に従事しているセラピストの数は一定であり、今後の伸び数によっては十分な訓練環境を提供できなくなる恐れもあり、病院としての対応を検討いただきたい。

②についても、年々検査件数の増加が得られており客観的な評価が充実していると思われる。しかし、マンパワー的に検査実施枠が限られており、更なる充実のためには耳鼻科など他診療科との連携も必要であると考えます。

##### ・指標改善に向けて行った取組内容 それが指標にどう現れたか

NSTや口腔ケアチームとの連携を図り、訓練適応患者の抽出、スムーズな処方依頼ができる環境を整えた。

- ・NST (Nutrition Support Team) 栄養サポートチーム